



野外観察園のハス 小三色蓮 学名 *Nelumbo* sp.
(撮影日 2018.6.27)

友の会の集いの報告

足立 守

名大祭期間中の6月9日土曜日の午後に博物館講義室で「NUM 友の会」総会（友の会の集い）が開催され、42名が出席しました。



総会に先立つ講演会では、博物館の野崎ますみ氏が「名古屋大学博物館友の会15周年」というタイトルで、2000年4月に創設された名古屋大学博物館の歴史を分かりやすく解説しました。

その中で、現在の博物館のスペースは東京オリンピックのあった1964年の11月に、古川為三郎氏と志ま夫人から名古屋大学に寄贈された由緒ある図書館（古川図書館）であること、博物館コンサートが行われる吹き抜けのスペースは閲覧室であったこと、建設資金については志ま夫人の大学教育にかけの夢が込められていたことなどが、当時のエピソードを交えて軽妙に紹介されました。さらに、名大博物館の地域貢献・次世代教育活動の中心プログラムとして人気のある『ミクロの探検隊』の話では、数多くの電子顕微鏡写真が「これは何でしょう？」というクイズ形式でスクリーンに映し出されました。参加者からは「わあ、きれいな形」、「何だろう」、「こんな模様をしてるんだ」などの声が上がっていました。

名古屋大学博物館友の会 NUM 友の会ニュースレター NO. 51

2018年7月4日発行

講演後の総会では、配布資料にそって、会計担当の川瀬隆夫会員から、2018年3月末の会員数（455名）と会費の納付状況、2017（平成29）年度の活動報告と会計報告、続いて、今年度の活動方針、博物館ボランティア活動、2018年度事務局体制の説明があり、質疑のあと承認されました。

総会終了後、大路樹生博物館長から、名古屋大学創基150年行事の一環として考えられている「NUMIRAI」構想の説明と博物館への支援活動のお願いがありました。短い休憩のあと、講義室で「友の会の集いミニコンサート」が開催され、中世ヨーロッパ音楽の演奏グループ、ウングレスカによって、「聖母マリアのカンティガ」、「馬のブラルル」など6曲が演奏されました（写真）。聴衆は普通のコンサートでは馴染みのないハーディ・ガーディなどの楽器を間近で見ながら、曲の解説付きの生演奏を楽しんでいました。主にルネッサンス期の音楽で、どの曲も初めて聞くものばかりですが、教会音楽に代表されるバロックとはまた違い、のどかなものからダンスが出来るようなものまで。1時間弱をたっぷり楽しみました。ハーディ・ガーディなどの古楽器も珍しく、演奏後も質問が絶えませんでした。



♪ミニコンサートのプログラム♪

- ・5月1日 12～13世紀フランス
- ・聖母マリアのカンティガ 422番/王の第5エスタンピー 13世紀スペイン / 13世紀フランス
- ・一輪のバラが咲きいでて M. プレトリウス 17世紀ドイツ
- ・シャンソネット・テデスカ 14世紀イタリア
- ・私の命を握る美しい人 T. アルポー著 オルケソグラフィより 16世紀フランス
- ・馬のブランル T. アルポー著 オルケソグラフィより 16世紀フランス

♪ウングレスカ♪ 今後の活動予定
 カフェ・カレドニア定例ライブ
 2018年9月1日(土) 19:30～
 カフェ・カレドニア
 (春日井市白山町4-6-9)



❖会計報告

| 事 項 | 収入額 | 支出額 | 差引額 |
|---------------------|---------|---------|---------|
| 前年度繰越額 | 622,732 | — | |
| 2017年度会費(4月～) | 93,000 | — | |
| 郵送料 | | 160,114 | |
| 謝金 | | 20,000 | |
| サークル活動補助 | | 7,500 | |
| ボランティア補助 | | 21,000 | |
| カレンダー作成補助 | | 10,084 | |
| 事務経費等 | | 22,320 | |
| その他 | | 3,352 | |
| 2017年度計 | 715,732 | 244,370 | 471,362 |
| 2018年度会計 (1月～3月) | 249,000 | — | 249,000 |
| 来年度繰越額 | 964,732 | 244,370 | 720,362 |

❖2018年度事務局体制

代表：足立 守、副代表：島岡 眞、会計：川瀬隆夫
 広報：小林身哉、大場玲子、中澤満里子、
 西口幸子、大矢佳代子、竹内まゆ美
 会計監査：石井郁代

❖博物館及び友の会へのご希望、ご意見、お便り等(返信ハガキから)

- ♪小学生低学年の子供が親子で参加できる講座やイベントなどを増やして頂けますと嬉しいです。
- ♪自然誌ウォーキング再開のお願い。2009年から2012年の3年間、木曾川が作った地形から始まり、鶴沼(犬山)のチャート地形まで各地を散策して大変楽しく勉強させてもらいました。当時は足立先生他、ご苦勞をおかけしましたこと、今更ながら感謝する次第です。足立先生がお戻りになられた今、是非再開して頂ければと思います。
- ♪「虫の世界」「深海魚を描こう」に参加させていただきました。子供もとても楽しんでおりました。ありがとうございました。今後よろしくお願い致します。
- ♪特に「野外観察園」に興味があり、友の会ニュースレターの記事もあわせ楽しませていただいております。ありがとうございます。
- ♪88歳の私がこんなにも楽しめる写真展、コンサートをご企画いただき感謝ばかりでございます。ボタニカルアートの植物画の美しさ、特にイチジクの絵画、感銘いたしました。
- ♪大学周辺の樹木等の観察会等があったら良いと思っています。
- ♪友の会総会の開催日ですが、名大祭期間をはずして実施されることはありませんか。行事が重なりますので・・・
- ♪東海林先生のカレンダーが届くとうれしくて心が明るくなります。ありがとうございます。
- ♪博物館の吉田先生のお姿をNHKニュースにて拝見しました。益々のご活躍、ご祈念申し上げます。
- ♪年画を用いた展覧会を開いていただきまして嬉しく思っています。私は体調がおもわしくなく出席できず残念に思っています。代わりに妻が見せていただきました。
- ♪昨年のコンクリーションの講演は大変楽しく聴かせていただきました。また、南山大学との合同企画も何回か行けました。楽しい企画をお願いします。
- ♪ユニークな音楽・歌をまたよろしくお願い致します。
- ♪各種イベントを楽しみにしています。
- ♪名大博物館友の会に関わりあることに大変嬉しく豊かな気持ちでいられます。感謝です。80歳代の高齢になりましたが、元気で文化的行事に参加できる喜びは多大でございます。
- ♪なかなか博物館にはお邪魔できませんが、ニュースレターやパンフレットだけでも拝見して楽しんでいます。是非、また伺います。
- ♪お世話になります。ニュースレター楽しみにしております。
- ♪近くに住んでいるおかげで、楽しませて頂いています。
- ♪いつもいろいろ学ばせて頂いて感謝しております。

♪友の会のご案内や会員証等をお送りいただきありがとうございます。楽しみにいたしております。
 ♪シャンソンのミニ発表会では緊張感が足りずはつきりいって最低でした。欠席者が多いことや歌詞につまったりと・・・足を運んで来て頂いたお客様に申し訳なかったと思います。
 ♪会費を郵便局へ支払いに行った時、窓口で局の方（男性）が博物館友の会・・・、こういうのがあるんですねえと興味深そうでしたので、「ぜひどうぞ」と勧めておきました。

「写真サークル」新規会員募集

丹慶勝市

写真が好きなアマの集まりである「写真サークル」では、新しい仲間を募っています。デジタル一眼レフカメラで写真を撮る腕を磨いてみたいとお考えで、次の入会資格（A）～（C）を満たしている方なら、初心者、初級、中級のいずれのクラスを問わず、どなたでも入会できます（年会費は2,000円）。

(A) デジタル一眼レフカメラをお持ちか、または購入予定の方、(B) 3月～6月、9月～12月の第2土曜午前の例会に積極的に出席して頂ける方、(C) パソコンでメールの送受信ができる方。

入会を希望される方は、**往復はがき**に「写真サークル入会希望」と明記のうえ、下記の（1）～（5）を書いてお申し込みください。宛先は名古屋大学博物館友の会「写真サークル」です。締め切りは**8月20日（月）必着**とさせていただきます。

（1）氏名（ふりがなもお願いします）、（2）友の会会員番号、（3）郵便番号・住所・電話番号、（4）パソコン用のメールアドレス、（5）関心のある撮影テーマ、カメラ歴、デジタル一眼レフカメラをお持ちの方はその機種名。



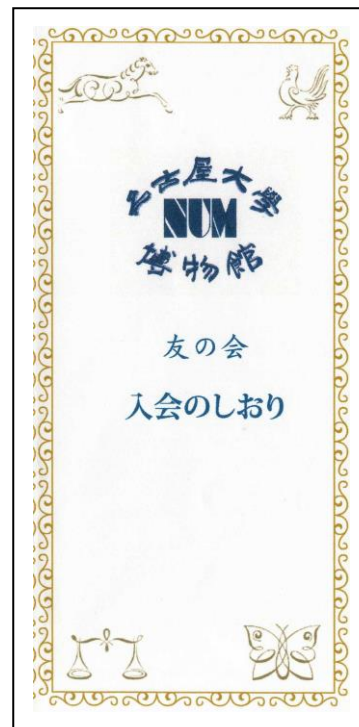
写真展（4月5日～5月11日）のギャラリートークを兼ねて開いた合同講評会の様子

第14回 NUMCoの予定

野崎ますみ

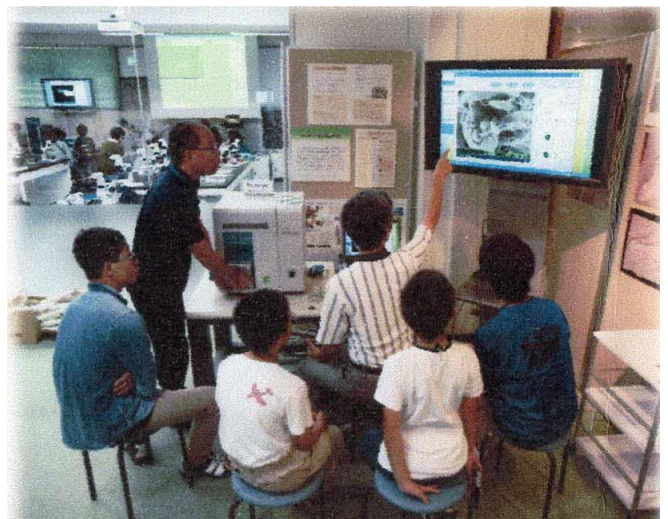
7月14日（土）午後2時より、2台のアルパ（南米パラグアイのハーブ）と歌のアンサンブルです。南米の音楽をお楽しみください。
 詳しくは同封のチラシをご覧ください。

友の会のパンフレットが新しくなりました。



この新しいパンフレットで入会を呼びかけてください。

「ミクロの探検隊」 観察園のムシ



足立 守

吉野奈津子

写真は和歌山県南部のすさみ町の海岸で見られる見事な褶曲（しゅうきょく）構造です。自然は本当に芸術家です。地元でフェニックス褶曲と呼ばれているこの褶曲（横臥褶曲おうがしゅうきょく）は、その規模と見栄えと迫力の上で、日本一と言っても過言ではありません。

この褶曲構造ができるには、かなり長い時間（例えば10万年くらい？）がかかったと思われませんが、詳しいことは誰も知りません。誰も研究していませんが、そのプロセスは、おおざっぱには、以下のようなようです。今から約4000万年前に、アジア大陸南の海底に白色の砂岩（厚さ数10cm～1m）と黒色の泥岩（厚さ数cm～30cm）が交互に次々と堆積しました。これらの砂岩と泥岩の地層は太平洋のプレートに押されて（太平洋プレートがユーラシアプレートに衝突して）、グニャッと曲がって横臥褶曲になりました。



こうした横臥褶曲はアルプス山脈で最初に研究され、いわゆる造山運動、そして現在のプレートテクトニクスの考えに発展していきました。

すでに真夏を思わせる暑さが続き、長い夏の予感がしますね。昨年秋から仕事としてツキミソウを扱うことになり、実験ゾーンではたくさんのツキミソウを栽培しています。まだ試行錯誤中ですが無事に花は咲いてくれました。「月見草」、名前の通り夜に咲きます。実際には薄暗くなり始めてからつぼみがふくらみ始め、日没30分前には開くようです。夏至に近づくとつれ開花の時間は遅くなっていきました。花が開くスピードはとても速くて、じーっと眺めていると花びらがほぐれて開く様子が分かる時もあり、小一時間あれば開きます。花が開く仕組みについては、花びらの細胞が水を含んで大きくなることが考えられますが、どうやって急速に花びらに水を送り込めるのかなどまだよく分からないことも多いようです。草丈30cmほどで花の大きさは直径6～7cm。華奢な体のどこにそんなエネルギーが秘められているのか不思議です。薄闇にそよぐツキミソウ、この春は楽しませていただきました。花びらを摘んで色素の研究に使うので大量に必要です。着々と苗を増やしているのので来年を思うと楽しみです。



ツキミソウ（アカバナ科）
Oenothera tetraptera
（撮影日 2018.5.11 18:10）



ツキミソウ
花は一日でしぼみ、桃色に色づきます。
（撮影日 2018.5.11 9:33）

名古屋大学博物館友の会 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学博物館 気付
電話：052-789-5767（博物館事務室） F A X：052-789-5896（博物館事務室）
Eメール：jimu@num.nagoya-u.ac.jp アクセス：地下鉄名城線「名古屋大学」下車 2番出口

年会費 1000 円（4/1～3/31） 10/1～3/31 に入会した場合は 500 円（次年度は 1000 円）

家族会員制度あり（同居の家族 1 名まで）

<振込先> ゆうちょ銀行 口座番号：00800-8-166807 加入者名：名古屋大学博物館友の会